

令和五年度 中学校後期 入学考査問題
国語(その一)

◎ 解答は別紙の解答用紙に記入しなさい。
◎ 字数制限のある解答は、句読点や記号「・」「()」なども一字と数えます。

考査番号

一、次の各問いに答えなさい。

問一 次の①～⑤の——線のことばの意味として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ① 必死にお願いをしたが、取りつく島もなく断られてしまった。
ア 冷ややかな態度で イ 即座に ウ 丁重に
② 彼とは相変わらず気が置けない関係だ。
ア 緊張が取れない イ 遠慮しなくて良い ウ しらじらしい
③ 俳優の登場で会場は黄色い声であふれた。
ア 大歓声 イ 驚きの声 ウ 女性や子どものかん高い声
④ 目に余る上司の言動により、彼の部下たちが反旗をひるがえした。
ア おせっかいな イ 見過ごせないほどひどい ウ 長い年月をかけた
⑤ 客からの質問に対し、お茶をにこした答えを返す。
ア いい加減にごまかした イ はきはきとした ウ 誤った

問二 次の①～⑤の□に当てはまることばの言い切りの形をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 弟に勉強を教えることができず、兄として□気持ちになった。
② かけこで転んでも立ち上がる息子の姿が□、涙があふれた。
③ 彼だけを誘わなかったが、あとになってから□気持ちになった。
④ 君は彼女の気持ちを□必要があると、友だちから忠告された。
⑤ 博識にこしたことはないが、あまりに□ときらわれてしまうよ。
ア うしろめたい イ ひげらかす ウ いじらしい
エ おぼつかない オ おもんばかる カ なさげない

問三 ①～⑤は海外のことわざです。日本のことわざや慣用句に最も意味が近いものをあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① Better to ask the way than go astray. (道に迷うよりも、道を尋ねた方が良い。)
② It is no use crying over spilt milk. (こぼれたミルクを見て泣いても無駄だ。)
③ A word is enough to the wise. (賢者には一言で事足りる。)
④ Do not teach your grandmother to suck eggs. (自分の祖母に卵の吸い出し方を教えるな。)
⑤ Do not count your chickens before they are hatched. (卵がかえらないうちに、ひよこの数を数えるな。)

- ア 覆水盆に返らず イ 釈迦に説法 ウ 聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥
エ 猿も木から落ちる オ 一を聞いて十を知る カ 取らぬ狸の皮算用

令和五年度 中学校後期 入学検査問題
国語(その二)

- ◎ 解答は別紙の解答用紙に記入しなさい。
- ◎ 字数制限のある解答は、句読点や記号「・（ ）」なども一字と数えます。
- ◎ 設問の都合により原文を一部、改めたところがあります。

考 査 番 号

二、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

小学六年生の千帆は、近頃、いつもふざけてばかりいる小学三年生の弟スグルに腹を立てていた。スグルはだらしなくて何の取り柄もなさそうだが、家族からはとても可愛がられている。そんなある日、千帆の目の前に突然神様が現れ、神様に「最高の弟を作って」とお願いされてしまう。そこで千帆は、ピアノ教室で出会ったとても上品で天使のような耀真くんを弟にしたいと思うが、神様は認めてくれないようである。

耀真くんは戸棚の上にある*リヤドロの人形を見やった。

「これ、後ろ姿はどうなってるんだろう」

片手を伸ばす耀真くんに、ちよつとだけひやつとした。先生が絶対さわらないでねって言ったからだ。でも、耀真くんならそつと見てそつと戻すだろう。落つこととして割つちやうような、スグルみたいなへマは絶対にしない。

………と思った直後、がしやんと鋭い音がした。

わたしは体をこわばらせたが、耀真くんはもつとがちがちに硬直している。フローリングの床の上で、人形のスカートが碎けていた。耀真くんが手をすべらせたのだ。

直しようもない*ムザンな人形を挟んで、わたしたちは動けなくなった。

「……耀真くん、大丈夫だよ。わざとじゃないんだもの、ちゃんと謝れば先生きつと許してくれるよ」

①わたしはできるだけ優しい声で言った。耀真くんは*生気を失ったような表情で、目を潤ませている。

ああ、この子はわたしが守らなければと、心から思った。このか弱い耀真くんを。

耀真くんは、芸術がわかる子なのだ。可憐なお人形の後ろ姿を見たかっただけなのだ。わたしがちゃんと先生に説明して、わかってもらわねば。

「一緒に謝ってあげるから。ね」

耀真くんの肩にそつと手を置く。彼は何も言わずに固まっていた。

そこに先生が入ってきた。トレイには、クッキーとオレンジジュースが載っている。ご機嫌だった先生の表情が、この部屋の*イヘンにすぐ気がついて大きく崩れた。

「あ、あーっ！」

先生はあわててトレイをテーブルに置き、床にはいつくばった。

「………私の……私のリヤドロが……」

真っ白な顔の先生が、わたしたちを見上げて「何があったの」と問う。耀真くんがほろほろと泣き出した。

「耀真くんなの？」

先生に言われ、②わたしは耀真くんの前に立つようにして言った。

「わざとじゃないです。耀真くんはただ、素敵なお人形だなんて、見たかっただけで。だから……」

叱らないであげてください、と必死で続けようとしたとき、耀真くんが言った。

「……千帆ちゃんが、やった」

えっ

「僕はさわっちゃだめだって言ったのに、千帆ちゃんが」

令和五年度 中学校後期 入学考査問題
国 語(その三)

- ◎ 解答は別紙の解信用紙に記入しなさい。
- ◎ 字数制限のある解答は、句読点や記号「・()」なども一字と数えます。
- ◎ 設問の都合により原文を一部、改めたところがあります。

考 査 番 号

耀真くんは、声を上げて泣き出した。

「えっ、ちよつと、耀真くん……?」

あまりのことに、A。先生は「なに笑ってるの、千帆ちゃん」と、びしりとわたしを制した。

「人は誰でも失敗するし、形のあるものは壊れるの。だから壊したことは怒らないわ。でもね、嘘が一番だめなことなのよ、千帆ちゃん」

◎わたしは絶句して先生と耀真くんを交互に見つめた。

この美しい耀真くんの涙に心を揺さぶられない大人なんているだろうか。いかにも気の強そうなわたしと、いたいけな耀真くんのどちらを信じるかなんて、Bだった。

「耀真くんのせいにするなんて。千帆ちゃんのほうがお姉さんでしょう」

お姉さん。

……そうだ。わたしは、お姉さんなんだ。

耀真くんがお人形に手を伸ばしたとき、すぐに止めなかったわたしが悪い。

「……ごめんなさい」

わたしはうつむいて言った。

(中 略)

お風呂から出てパジャマに着替えると、洗面所のドアの向こうで、「ねえちゃん、もう出たー?」とスグルの声がした。

ドアを開けるとスグルはパンツ一丁で立っていた。

「九時からのアニメ見たいからさあ、早く早く」

そう叫ぶスグルと入れ違いに洗面所を出て、台所に向かった。壁の時計は八時四十五分だ。お母さんが食器を洗っている。わたしは牛乳を飲もうと冷蔵庫の前に立った。

「あ、お姉ちゃん。さつきね、ピアノの先生から電話があったわよ」

ドクンと心臓が鳴る。冷蔵庫の扉に手をつけたまま、わたしはお母さんを見た。

お母さんはスポンジを片手に、顔だけわたしに向けた。

「耀真くんっていう男の子が、お母さんと一緒にお詫びに来たんだって。お人形を壊してしまったんだけど、それをちゃんと言えなくてごめんなさいって」

……耀真くん、本当のこと言ってくれたんだ。

◎体じゆうの力が、ほどけていった。お母さんは水を止めて、エプロンの端で手を拭きながら続ける。

「先生も、一方的に責めるようなこと言っちゃって申し訳なかったって、謝ってたわよ。耀真くんのことかばったんだってね、お姉ちゃん」

わたしの左手がすうっと伸びて、お母さんの手首をつかむ。

びっくりしているお母さんの顔。左手はお母さんの手を引っ張り、わたしの頭に寄せた。神様の勝手なしわざだったけど、それが何を意味するのかわたしにはよくわかった。

「……千帆、って呼んで」

「えっ」

令和五年度 中学校後期 入学検査問題
国語(その四)

- ◎ 解答は別紙の解答用紙に記入しなさい。
- ◎ 字数制限のある解答は、句読点や記号「・()」なども一字と数えます。
- ◎ 設問の都合により原文を一部、改めたところがあります。

検査番号

「お姉ちゃんじゃなくて、千帆って」

◎左手は、お母さんの手を誘導してわたしの頭をなでさせる。いいこ、いいこ。
はつきりとは覚えていない。でも、ホームビデオで見たことがある。

スグルが生まれる前の、わたし。

お父さんもお母さんも、わたしのことを「チィちゃん」とか「千帆」って呼んでた。そしてこんなふうには、いつばいなでてくれた。
「ちよつと……ちよつと、待って」

お母さんはタオルでしっかりと手を拭きなまし、わたしの背中をそっと押しながら、イマに連れて行った。おじいちゃんもおばあちゃんも自分の部屋にいて、お父さんはまだ帰っていない。

お母さんは畳の上に正座すると「おいで」と言いつつ両腕を広げた。

わたしはおずおずと、お母さんの腕の中に体を寄せる。お母さんは、わたしを赤ちゃんみたいにぎゅうつと抱っこしてくれた。

「ごめんね。なんだか、スグルを見ると千帆がすごくしつかりした大人に見えちゃうのよ。でも千帆だって、まだ小学生なんだからね」

そう言ってお母さんは、わたしをいつばいなでてくれた。頭も肩も腕も背中も。涙がぼろぼろと頬を流れていく。

「千帆はきつと、耀真くんが年下だから、お姉さんでいなくちゃ、守らなきゃって、そう思ったのね。そういう千帆の気持ちが耀真くんにも届いて、本当のことを言ってくれたんだと思うわ」

びったり顔をくっつけているお母さんの胸から、穏やかな鼓動が伝わってきた。わたしは目を閉じて、ココロウタを聴くみたいにお母さんの声に身をゆだねる。

「でも、罪をかぶることや我慢することが優しさではないのよ。千帆には千帆の大切な道があるの。忘れないでね。困ったことがあったら、こうやっていつばい甘えていいのよ。中学生になっても、大人になっても、ずっとずっとよ」

わたしはこくんとうなずいた。

大人になって、お嫁にいつてもわたし、つまらない娘になんてならない。そう決めた。

お母さんはわたしの両肩に手をやりながら「それからね、千帆」と笑いかける。

◎千帆が言ったのよ。これからはわたしのことお姉ちゃんって呼んでって。スグルが生まれたとき、得意そうな顔でね」

「……………え」

そうか。そうだったのか。

幼いわたしは、やつぱり嬉しかったんだ。

お姉ちゃんになることが、スグルという弟ができたことが。

「スグルが心配してたよ。ねえちゃん、今日は唐揚げふたつしか食ってないって。いつもは五個ぐらい余裕なのになあって。よく見るね」

洗面所のほうから「今、なんじー？」とスグルの声が飛んでくる。

そういえばわたしはスグルに、連絡ノートを持ってきてくれてありがとうって、まだ言っていない。わたしはもう一度、ぎゅーとお母さんに抱きついたあと、「八時五十五分だよ、早くおいでー」と叫んで立ち上がった。

(青山美智子「ただいま神様当番」)

*リヤドロの人形：先生が去年スペイン旅行で買って来た、リヤドロというメーカーの、陶器でできた貴婦人の人形。

*生氣を失う：何事に対してもやる気がでなくなること。

令和五年度 中学校後期 入学検査問題
国語(その五)

- ◎ 解答は別紙の解答用紙に記入しなさい。
- ◎ 字数制限のある解答は、句読点や記号「・()」なども一字と数えます。
- ◎ 設問の都合により原文を一部、改めたところがあります。

考 査 番 号

問一 —— 線 a s d のカタカナを漢字に直して答えなさい。

問二 —— 線①「わたしはできるだけ優しい声で言った」とありますが、「優しい声」で言ってあげるわたしの気持ちとして最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 自分自身を情けないと思う気持ち。 イ 年上として動揺を隠したい気持ち。
- ウ 耀真くんへの怒りを抑える気持ち。 エ 耀真くんを守ってあげたい気持ち。

問三 —— 線②「わたしは耀真くんの前に立つようにして言った」とありますが、その時のわたしの気持ちとして最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 耀真くんはただお人形を見たかっただけなので、耀真くんを怒らないであげてほしいと先生にお願いする気持ち。
- イ 耀真くんは生気を失ったような表情だったので、罪のない耀真くんを元気にしてあげたい、と必死になる気持ち。
- ウ 耀真くんは泣きながら反省していたため、リヤドロは自分が壊したことにして、かばってあげようとする気持ち。
- エ 耀真くんは芸術がわかる子で、リヤドロの価値も知っているため、無理に壊したわけではないと確信する気持ち。

問四 —— 線 A に当てはまる表現として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 挙動不審になる イ 半笑いになる ウ 頭が真っ白になる エ 泣きそうになる

問五 —— 線③「わたしは絶句して先生と耀真くんを交互に見つめた」とありますが、わたしが「絶句」してしまったのはなぜですか。耀真くんと先生の両者の言動に触れながら、八〇字以内で説明しなさい。

問六 —— 線 B に当てはまる四字熟語として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 一網打尽 イ 一挙両得 ウ 一蓮托生 エ 一目瞭然

問七 —— 線④「体じゅうの力が、ほどけていった」とありますが、それはなぜですか。その理由の説明として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 耀真くんを守りきったというお姉ちゃんとしてのふるまいをお母さんに褒められたから。
- イ 先生の人形を耀真くんと一緒に壊してしまったことを、お母さんからは怒られずに済んだから。
- ウ 耀真くんが本当のことを言ってくれたことにより、ピアノの先生の誤解が解けて安心したから。
- エ 人形を壊していないことを先生に信じてもらえずつらかったが、謝ってくれて嬉しかったから。

問八 —— 線⑤「左手は、お母さんの手を誘導してわたしの頭をなでさせる」とありますが、左手が無意識のうちに動いている理由を説明する表現を、本文中から九字でぬき出して答えなさい。

問九 —— 線⑥「千帆が言ったのよ。これからはわたしのことお姉ちゃんと呼んでって」とありますが、そう言った幼い頃のわたしの気持ちを表す連続した二文を本文中からぬき出し、はじめと終わりの五字を答えなさい。

令和五年度 中学校後期 入学検査問題
国語(その六)

- ◎ 解答は別紙の解答题に記入しなさい。
- ◎ 字数制限のある解答は、句読点や記号「・()」なども一字と数えます。
- ◎ 設問の都合により原文を一部、改めたところがあります。

考 査 番 号

三、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

色の違いは、物理学的には光の波長の違いです。そして、波長は連続的に変化していきますから、その中のどこに切れ目を入れて区別するべきかということについて、光の側に必然的な根拠があるわけではありません。人の目に見える光(可視光)の波長は、おおよそ四〇〇*ナノメートルから八〇〇ナノメートルの間ですが、その中の特定の波長を境に光の性質が激変するなどといったことはない。にもかかわらず人間は、紫・青・緑・黄・赤などを区別します。つまり、そうした区分は人間の側が*恣意的に入れるものだから、

I はずだと考えられたのです。

ところが実際に調査してみると、驚いたことというべきか、当たり前というべきか、^①色の名前や区分には、言語や文化を超えた*普遍性があることが見いだされたのです。

アメリカの人類学者ブレンド・バリーン(一九三六)と言語学者のポール・ケイ(一九三四)が一九六九年に出版した『基本の色彩語——普遍性と進化について』(日高杏子訳、法政大学出版社)という本は、こうした研究の。コテンと行ってよいでしょう。

かれらは、二〇の異なる言語の話者にさまざまな色のついた紙片を見せ、そのなかから「もとも基本的な色」だと思うものを選び、その名前を言うよう求めました。それから、その名前と呼ぶことのできる紙片をすべて選びだすように頼みました。こうした調査の結果明らかになったことは、「もとも基本的な色」の例として選ばれた紙片はほぼ一定だということでした。A、その名前と呼ぶことのできる色の範囲には多少のばらつきがあるようでした。

そうした「基本的な色」は、白・黒・赤・緑・黄・青・茶・紫・ピンク・オレンジ・グレーの十一色だったそうです。かれらは、これらの色を「焦点色」と呼んでいます。

さらにかれらは、^②色の名前の進化についても論じています。B、色の名前が増える順番には規則性があるということです。まず、ある言語において色名が二つしかないとき、それらは黒と白である。三語ある場合には、そこに赤が加わる。さらに、四語では緑または黄が加わるのですが、この場合の「緑」は青色を含みます。日本語では「青々とした畑」や「青信号」などのように、「あお」ということで緑色も指しますが、そういう青と緑を一緒くたにした名前は、日本語以外にも広くみられるのです。そのあとは、青、茶の順で増加し、八語以上の色名がある言語の場合には紫、ピンク、オレンジ、グレーが加わるといいます。

色の見え方には人類普遍性がある、つまり、人間は誰でも同じように色を見ているというのは、考えてみれば当たり前です。色は、目の網膜にある*錐体細胞で認識します。錐体細胞には、青の光にもっともよく反応するものと、緑にもっともよく反応するもの、赤にもっともよく反応するものの三種類があります。ある波長の光に対して、それら三種類の細胞がそれぞれどれくらいの強度で反応したかによって、色が認識されます。このように、色の見え方は人間の目の遺伝的な、あるいは生物学的な構造に大きく依存しているのです。要するに、色の区別には物理学的な必然性はなく、その意味ではたしかに「恣意的」だが、^③人間の身体構造による必然性(いわば「生物学的な必然性」)はあるといったらよいかもかもしれません。

(中 略)

アメリカの言語学者ノーム・チョムスキー(一九二八)は、言語は恣意的だという考え方そのものに根本的な批判を加えました。彼は、言語は人間が生まれつき持っている本能だと主張したのです。もちろん、私たちが実際に言語を話せるようになるためには、経験が必要です。しかし、経験だけでは言語を学ぶことはできないとチョムスキーは言います。彼は、一九五七年に最初の著作『統辞構造論』(福井直樹他訳、岩波文庫)を出版して以来、一貫して言語*生得説を唱えてきました。

チョムスキー自身は、経験だけでは文法構造を学ぶことができないと主張したのですが、ここでは物の名前を学ぶことを例に挙げて考えてみましょう。

令和五年度 中学校後期 入学検査問題
国語(その七)

- ◎ 解答は別紙の解答用紙に記入しなさい。
- ◎ 字数制限のある解答は、句読点や記号「・()」なども一字と数えます。
- ◎ 設問の都合により原文を一部、改めたところがあります。

検査番号

私たちは、子どもに言葉を教えるときに、物を見せてその名前を呼んだりします。C、リンゴを見せて「これはリンゴだよ」と教えます。そのとき子どもは、何がリンゴという名前と呼ばれているのかを自分で理解しなくてはなりません。子どもには、リンゴだけでなく、それを持っている手やお父さんの顔など、さまざまなものが見えています。そのなかのどれが「リンゴ」なのか、どうやってわかるでしょうか？

指で差してやったらわかるでしょうか。D、指の先には、リンゴだけでなく、赤い色も見えます。赤い色が「リンゴ」なのかもしれない。あるいは、何かが手にのついている状態が「リンゴ」なのかもしれない。ひよつとすると指が「リンゴ」なのかもしれない。「リンゴ」という言葉が何を指しているのかには、無数の可能性があります。何かを見せてその名前を呼んだだけで、その名前が見えているものの中のを指しているのかを決定することは、論理的に考えると極めて困難なのです。

もしも子どもたちがこの困難を経験のみによって克服するならば、もつとたくさんの経験が必要なはずです。たとえば、「リンゴ」という言葉一つを学ぶために、リンゴは赤い色でない、手にのついている状態でもない、指でも笑っているお父さんでもない……などと、無数の可能性をすべて、ケンショウする必要がありません。しかし実際には、たった一回、リンゴを示して「リンゴだよ」と言っただけで、子どもは何がリンゴなのかを適切に理解してしまいます。

しかも子どもは、「リンゴ」という名前が、ガンゼンに示された物体の固有名ではなく、他のリンゴも「リンゴ」と呼ばれるのだというとも理解します。これは、子どもが「名前と呼ばれるべきもの」がどんなもののかをあらかじめ知っていると考えざるを得ないでしょう。

そもそも子どもは「物には名前がある」ということも自分で理解しなくてはなりません。たとえば、⑤チンパンジーのような人間に極めて近いと考えられている動物でさえ、物を見せてその名前を呼ぶような教え方では決して言葉を学びません。チンパンジーには、物には名前があるということがわからないのです。しかし、物には名前があるということを、どのようにしたら教えることができるでしょうか。これは、名前を教えること自体の前提ですから、単に名前を教えることによって教えることはできないのです。

このように考えると、言語を学ぶためには、言語とは何なのかについての知識があらかじめ子ども側に備わっていないならはいけません。「物には名前がある」とか「名前は種類を示す」とか、さらには「個体識別することが重要なものについては固有名詞がある」「行為や動作を示す言葉(動詞)もある」「文章は語順によって意味がまったく変わってしまうことがある」といったことを、子どもがあらかじめ知っているからこそ、子どもは短い期間で言語を獲得することができるのです。

このように、言語を学ぶためには経験だけでなく、前提となる知識が必要だという⑥チヨムスキーの主張はもつともなので、現在の言語学では定説の一つとなっています。

もちろん、その前提となる知識が具体的にどのような知識で、どのような形で遺伝子に書き込まれているのかといった点については論争があります。たとえば、「子どもはリンゴが何かをあらかじめ知っている」というのは、あきらかに無理のある主張です。この世界にある、名前と呼ばれるべきものがすべて人間の遺伝子に書き込まれているわけがありません。他方、もう少し一般的な能力、たとえば物体を識別し、そのルイジ性を判断する能力なら、遺伝的だといってよいかもしれません。

いずれにせよ、言語は単に経験のみによって学ばれるのではなく、人間の生得的な要素が関わっていることは、まず間違いないでしょう。

(山口裕之『みんな違ってみんないい』のか？ 相対主義と普遍主義の問題)

* ナノメートル：国際単位系の長さの単位。一ナノメートルは十億分の一メートル。

* 恣意的：言語の意味の区分に必然的な根拠がなく、人間の意のままに決まるということ。

* 普遍性：すべてのものに共通する性質。

* 錐体細胞：眼の網膜に存在する視細胞の一種。

* 生得説：人間の特定の能力が、生まれながら脳の中に備わっていると考える考え方。

令和五年度 中学校後期 入学検査問題
国語(その八)

◎ 解答は別紙の解答用紙に記入しなさい。

◎ 字数制限のある解答は、句読点や記号「・()」なども一字と数えます。

◎ 設問の都合により原文を一部、改めたところがあります。

考 査 番 号

問一 — 線 a～d のカタカナを漢字に直して答えなさい。

問二 — A、D に入る最も適切なことばを次から選び、記号で答えなさい。

ア しかし イ つまり ウ そして エ ただ オ まず カ たとえば

問三 — I に当てはまる表現として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 同じ言語なら同じである イ 同じ言語でも異なる ウ 異なる言語でも同じである エ 言語によって異なる

問四 — 線①「色の名前や区分には、言語や文化を超えた普遍性がある」とありますが、「色の区分の普遍性」とはどういうことですか。「～ということ。」に続く形で、本文中から十七字でぬき出して答えなさい。

問五 — 線②「色の名前」とありますが、色に関して「日本では□は七色だが、フランスでは五色、中国では三色」とよく言われます。□に入ることを自分で考えて、平仮名二字で答えなさい。

問六 — 線③「人間の身体構造による必然性(いわば「生物学的な必然性」)はある」とありますが、この筆者の主張と一致する考えとして最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 色の違いは光の波長の違いであるため、その波長の違いを根拠として、人間は色の区別をしている。
イ 色の名前の進化の仕方には共通の規則性があるため、明らかに色の区別は人間がしてきたといえる。
ウ 人間は色を目的の錐体細胞によって認識するため、言語が違ってもある程度同じように区別している。
エ 人間には遺伝的な多様性があるため、同じ言語を話していたとしても色の区別の仕方は違ってくる。

問七 — 線④「この困難を経験のみによって克服するなら、もっとたくさんさんの経験が必要なはずです」とありますが、「この困難」の本文中の例として、適切でないものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 「リンゴ」と言われても、目の前に見えている他のものと間違えて認識するかもしれないということ。
イ 「リンゴ」と言われても、見ているだけでは「食べ物である」ということを認識できないということ。
ウ 「リンゴ」を指で差し示されても、赤い色のことを意味していると認識するかもしれないということ。
エ 「リンゴ」を指で差し示されても、何かが手にのっている状態だと認識することもできるということ。

問八 — 線⑤「チンパンジーのような人間に極めて近いと考えられている動物でさえ、物を見せてその名前を呼ぶような教え方では決して言葉を学びません」とありますが、その理由を、人間の子どもと比較しながら、八〇字以内で説明しなさい。

問九 — 線⑥「チヨムスキーの主張」として、正しいものを次から二つ選び、記号で答えなさい。

ア 言語は人間が生まれつき持っている本能であり、経験だけでは言語を学習できない。
イ 言語の意味の区分には必然的な根拠がないため、人間側が言語の区分を決めている。
ウ 言語学的には、経験だけでは文法構造を学ぶことができないが、物の名前は学べる。
エ 言語を学ぶためには、単なる経験だけでなく、前提となる言語知識も必要である。
オ 言語を操る人間の遺伝子には、名前で呼ばれるべきものがすべて書き込まれている。

令和4年度入試 後期

国 語

【全体の講評】

大問一と大問二は、比較的良好にできていましたが、大問三の正答率がとても低いです。日頃から思考力を鍛えるような文章に触れて、少し抽象的な要素のある文章にも慣れておきましょう。

【各問題について】 ※正答率はそれぞれ上から順に医進選抜・SG・ミライの合格者の平均です。

問題	正答率	出題内容：小問題
一	78%	ことわざや慣用句を中心に出题しました。医進選抜・SGとミライの点数差が非常に大きいと感じました。ことわざや慣用句の基本的な知識がある生徒にとっては、そこまで難易度は高くない問題でした。普段から読書などを通して語彙力を身につける意識を持ちましょう。
	82%	
	55%	

問題	正答率	出題内容：文学的文章（小説）
二	81%	全体的によくできていました。問五の八十字の記述問題に関しても、しっかり書けている答案が多くみられました。さらに高得点を目指すならば、問いの文章の内容にしっかり沿った答案を作るよう意識してください。具体的には「両者の言動」と書いてあるのに片方のみに触れて終わる解答や、本文の言葉をそのまま使いすぎて八十字に収めきれない解答が目立ちました。
	84%	
	71%	

問題	正答率	出題内容：説明的文章（評論）
三	56%	大問二に比べて、非常に正答率が低い結果となりました。時間配分がうまく出来なかったのだと思われます。本文中に初めて見るような難しい言葉が出てきて、読解に時間がかかった受験生もいたかもしれませんが、選択問題の難易度そのものは高くないため、いかに注釈を参考にしながら落ち着いて文章を読めるかが大切です。
	56%	
	35%	

令和 5 年度 中学校後期入学考查問題
算 数 (その 1)

[注意事項]

- ◎ 解答はすべて別紙解答用紙に記入しなさい。
- ◎ 図は必ずしも正確ではありません。
- ◎ 円周率は 3.14 として計算しなさい。
- ◎ 解答が分数の場合は約分をして答えなさい。

① 次の にあてはまる数を答えなさい。

(1) $(28 - 5 \times 2) \times 7 \div 9 = \text{$

(2) $\left(4\frac{3}{5} - 3.5\right) \times 5 - 2 \times 2\frac{1}{3} + 7.5 \div 5 = \text{$

(3) $\left(3.2 - \text{$ $\right) \times \frac{7}{9} + 9.2 = 10.6$

(4) 2 時間 35 分 25 秒 - 1 時間 49 分 12 秒 = 秒

② 2.6 km はなれた 2 地点 A, B があります。おさむさんは A 地点から B 地点にかけ足で向かい、みどりさんは B 地点から A 地点に歩いて向かいました。2 人は同じ時刻に出発し、出発してから 15 分後に出会いました。2 人が出会った後、みどりさんはそのまま A 地点に向かいましたが、おさむさんは出発した A 地点に向かって引き返しました。そして、A 地点におさむさんがもどってから 10 分後にみどりさんは A 地点に到着しました。2 人の進む速さは、それぞれ常に一定であるものとして、次の各問いに答えなさい。

(1) みどりさんの進む速さは時速何 km か求めなさい。

(2) おさむさんの進む速さは時速何 km か求めなさい。

(3) おさむさんは A 地点にもどってすぐにまた B 地点に向かって進みました。2 人が再び出会うのは、2 人が最初に同時に出会ってから何分何秒後か求めなさい。

令和5年度 中学校後期入学考査問題
算 数 (その2)

- ③ 今日、けいさんとゆうさんは2人で遊園地に行きます。2人の会話を読み、 ~ にあてはまる数を答えなさい。

遊園地にと到着

ゆうさん：入場ゲートが行列で、すでに80人が並んでいるよ。あと何分で開園だったっけ？

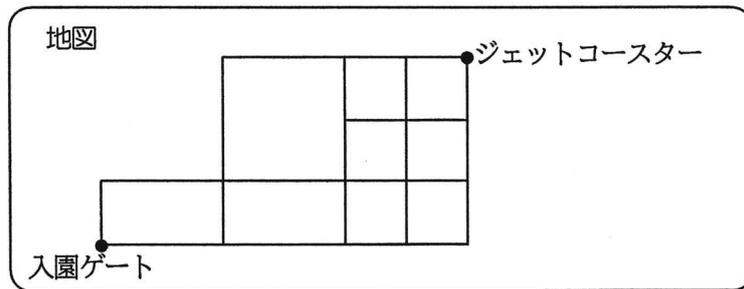
けいさん：あと15分で開園だね。見ている限り、1分間に4人ずつ増えていっているよ。

遊園地に入園後

ゆうさん：すごく時間がかかったね。行列がなくなるまで開園から25分かかったよ。

けいさん：ゲートが5か所あるけど、2か所しか使っていないからね。もし、5か所とも使えたら開園から分で行列はなくなったけれど。

ゆうさん：さて、パンフレットによると、この遊園地の地図はこのようになっているらしいよ。



けいさん：入園ゲートからジェットコースターまでの最短の行き方は通りあるね。どの道を通ろうか？

数時間後

ゆうさん：おみやげを買ったよ。円持ってきて、おみやげ代は持ってきた金額の $\frac{3}{5}$ を使ったけど、入園料として1200円も払ったから、残った金額は500円だったよ。

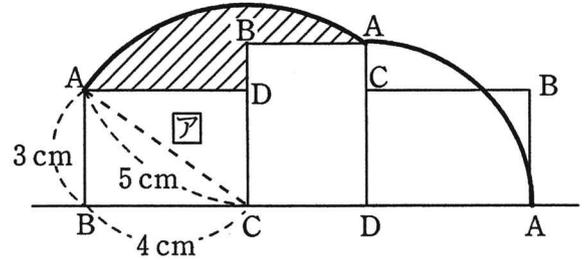
けいさん：それで、ゆうさんは何を買ったの？

ゆうさん：クッキーを買ったよ。枚入っていて、同じ部活動の友だちに5枚ずつ配ると4枚足りなくなるから、3枚ずつ配ることにしたよ。そうするとぼくは8枚食べられるからね。

けいさん：おいしんぼうだなあ。

令和 5 年度 中学校後期入学考査問題
算 数 (その 3)

④ 右の図のように直線上に長方形 ABCD がアの位置にあります。最初に長方形 ABCD を頂点 C を中心に時計まわりに 90 度回転します。次に、頂点 D を中心に時計まわりに 90 度回転します。次の各問いに答えなさい。



- (1) 頂点 A が動いた道のり (太線) の長さは何 cm か求めなさい。
- (2) 図のしゃ線部分の面積は何 cm^2 か求めなさい。

⑤ 先生とみおさんが次のような会話をしています。会話を読んで、次の各問いに答えなさい。

先 生：今日は 1 より大きい整数で約数を 2 つしか持たない数を調べてみよう。みおさん、2 から 10 までの整数で約数を 2 つしか持たない数は何個あるかな。

みおさん：はい。2, 3, ... と数えていくと、全部で 個です。

先 生：その通り。

みおさん：ところで先生、今気づいたのですが、^{くうすう}偶数で約数を 2 つしか持たない数は 2 だけですよね。

先 生：よく気づいたね。理由はわかるかな。

みおさん：はい。 。

先 生：正解です。では、同じように考えて右の表を使い、約数が 2 つしか持たない数に○印を付け、約数が 3 つ以上あるものを線で消していきましょう。偶数は先生が消しておきました。

みおさん：ありがとうございます。こうやって消していくと...、2 から 50 までの整数で約数を 2 つしか持たない数は全部で 個ありますね。

②	3	4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50

先 生：お見事です。このような数を素数といい、今行ったような素数の見つけ方を「エラトステネスのふるい」といいます。

- (1) 空らん ~ をうめなさい。ただし、 , には数を、 には理由を記入しなさい。
- (2) 51 から 100 までの素数は何個あるか答えなさい。

考査番号	
------	--

令和 5 年度 中学校後期入学考査 解答用紙

算 数

1

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	

4

(1)		cm
(2)		cm ³

2

(1)	時速	km
(2)	時速	km
(3)	分	秒後

5

(1)	ア
	イ
(2)	ウ
	個

3

ア	
イ	
ウ	
エ	

得 点	
1	
2	
3	
4	
5	
合計	

整 理 番 号

(ここに記入しない)

令和5年度入試 後期

算 数

【全体の講評】

比較的取り組みやすい問題が多かったですが、正答率に差が出る問題も多数ありました。問題文の読み取りと理解はどの入試方式でも重視しています。普段から読書をしましょう。

【各問題について】 ※正答率はそれぞれ上から順に医進選抜・SG・ミライの合格者の平均です。

問題	正答率	出題内容：計算問題（時間の計算を含む）（易）
1	98%	平易な四則混合の問題と時間の計算でしたが、非常によくできていました。
	96%	
	86%	

問題	正答率	出題内容：速さ（やや難）
2	55%	2人が2地点間を行き来する問題でした。このような問題は2022年度の共通テストにも出題されていましたが、2人の動きを図示することで解きやすくなります。正答率も差がついてしまいました。
	43%	
	14%	

問題	正答率	出題内容：文章題（ニュートン算・場合の数・割合・過不足算）（標準）
3	57%	会話形式で問題を読み取って解いていく問題でした。遊園地の行列に関するニュートン算の問題は標準的ですが、難しかったようです。
	57%	
	32%	

問題	正答率	出題内容：長方形の回転と通過部分（やや易）
4	77%	長方形を回転させていき、頂点が動いた道のりや通過した部分の面積を求める問題でした。類題も多く、普段の取り組みで差が出た問題でした。
	43%	
	39%	

問題	正答率	出題内容：素数の判定法（エラトステネスのふるい）（やや易）
5	64%	素数の判定法に関しての会話文を読み、答える問題でした。理由を説明させたり、実際に素数の個数を求めたりする問題でしたが、この問題も文章を理解できたかで差が出る問題でした。
	55%	
	18%	